

授業科目名・形態	コミュニケーション技術Ⅱ	講義	必修・選択の別	選択
担当者氏名	山田 克宏	開講期	1年 後期	単位数 2

【授業の主題】

介護実践の場面では、様々な障害を持つ方がいます。コミュニケーションの取り方も、障害の特性によって変わってきます。そこで本講義では、様々な障害の特性を理解したうえで、障害の特性に応じたコミュニケーション技術を学びます。

また、介護実践の場面では、他職種との連携が求められます。本講義では、他職種との連携を「チームアプローチ」としてとらえ、チームで求められるコミュニケーション技術を学びます。

本講では、利用者・家族との支援関係の構築やチームケアを実践するためのコミュニケーションの意義や技法を学び、介護実践に必要なコミュニケーション能力を養うことを目的とします。

【到達目標】

- 1) 利用者の特性に応じたコミュニケーションについて理解する。
- 2) 介護におけるチームのコミュニケーションについて理解する。

【授業計画・内容】

- 第 1回 コミュニケーション障害の理解
- 第 2回 コミュニケーション障害のある利用者への対応
- 第 3回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際①：高次脳機能障害
- 第 4回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際②：失語症
- 第 5回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際③：構音障害
- 第 6回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際④：認知症
- 第 7回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際⑤：若年性認知症
- 第 8回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際⑥：視力障害
- 第 9回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際⑦：聴力障害
- 第10回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際⑧：知的障害
- 第11回 障害の特性に応じたコミュニケーションの実際⑨：精神障害
- 第12回 チームのコミュニケーション
- 第13回 記録
- 第14回 報告・連絡・相談
- 第15回 会議

【授業実施方法】

講義形式とグループワーク

【授業準備】

テキストを中心とした予習を十分に行うこと

【主な関連する科目】

コミュニケーション技術Ⅰ，介護の基本，介護過程，人間の理解，高齢者福祉論，生活支援技術，日常生活支援技術演習，障害者福祉論，認知症ケア論 等

【教科書等】

コミュニケーション技術（新・介護福祉士養成講座5 中央法規）

【参考文献】

必要に応じて紹介する。

【成績評価方法】

グループワーク（20%），定期試験（80%）で評価する。

【学生へのメッセージ】

それぞれの障害の特性に対し、コミュニケーション技術をどのように応用しなければならないのかについて考えるようにしてください。